

子供たちが「わくわくときどきする教育活動」をきめ細かく実施し、知・徳・体のバランスのとれた成長と将来をたくましく生きる源泉となる自身を育む教育を推進する。

#### 1 安全・安心の基盤に立った教育環境の整備

- (1)「学校は安全なところ」という安心感を児童・保護者が常にもてるよう、日常の安全管理を徹底する。(登下校の安全確認、危険箇所表示の徹底、危険行為への毅然たる指導。定期的な安全点検の実施。学校防犯の体制の確認。真剣な避難訓練・安全指導)
- (2)緊急時の対応体制は、教職員全員が精通し、即時に対応ができるようにする。

#### 2 児童育成の基本的な考え方

- (1)児童一人一人によさや個性があることを認識し、教育上特別な配慮を要する児童に対しては個別指導計画をもとに、校内組織を確立し全校支援体制で適切な指導を図る。
- (2)毎時間のねらいを明確にし、指導内容や方法を工夫・改善し、質の高い授業を目指す。(年間指導計画や週ごとの指導計画による意図的・計画的な授業の実施。定期的な授業観察や研究授業による相互啓発。自己研鑽、学校評価による検証・改善)
- (3)児童の豊かな人間性を育成するため、週一時間の道徳の時間の質的向上を図るとともに、重点的な視点をもって具体的な目標のもとで生活指導を図る。また、児童間のトラブルや登校しぶり、児童の安全確保等は、報告・相談を迅速に行い、早期解決を図る。
- (4)児童の体力向上と健康増進を図るため、進んで体力づくりに励む意欲を高めるとともに、自らの健康に関心をもつための活動を行う。
- (5)「地域のなかにある学校」という認識のもと、地域との協働による教育活動をさらに活性化させ、児童の全人的成長を図る。

#### 3 周年行事に向けた円滑な準備

- (1)開校50周年記念行事、記念誌、関連するイベント等の実施体制を組み、全教職員で協力して計画的に推進する。また、保護者、地域関係者と十分な連携をもとに準備を進める。
- (2)備品整理や教室配置等の準備を計画的に実施する。

#### 4 組織運営と学校予算の活用

- (1)旧慣にとらわれることなく、常に修正・精選・見直しの観点をもち、分掌の遂行を図る。

- (2) 事務主任と連携を図り、効果的・創造的に予算の活用を図り、計画的な物品購入を目指す。(校舎改築を視野に入れながら)
- (3) 会議の効率化を図るために、事前に内容の予告をするとともに、お互いが貴重な時間であることを認識し、開始時刻の厳守を徹底する。
- (4) 「教職員は、教えることは得意だが、教わることは苦手な職」といわれる。苦言を謙虚に受け止め、よいことは「盗む」姿勢をもつ。

## 5 サービスの厳正

- (1) 私達、公務員は、「法によって身分が保証され、守られている」とともに、「法によって服務上の義務が課せられている。」
- (2) サービス事故の原因を見ると、自覚、認識、当事者意識の欠如、管理監督者の危機意識の甘さ、継続的指導の不足などが挙げられている。今一度、自らの職責を十分に認識し、サービスの厳正に努めていきたい。

## 6 接遇の向上と地域貢献（保護者、地域への対応）

- (1) サービスは、送り手の満足ではなく、受け手の満足で評価されることを認識する。
- (2) 電話の対応(学校名+名前)、あいさつ(笑顔+ことば)、身だしなみ(時と場に応じたふさわしい服装)、ミスの認識(素直にミスを認める態度)などを励行し信頼を得る。
- (3) 日々の学校の教育活動にあたって地域・保護者から、多大な支援を頂いていることを認識し、各教職員がさまざまな形で地域貢献に取り組む。

## 7 健康の維持管理

- (1) 定期健康診断は何らかの形で必ず受診する。
- (2) 心身の健康に関して何か困ったことや悩みごと等がある場合には、早めに相談し、ヒアリングを通してのカウンセリング等で、体調をリフレッシュしていくようにする。
- (3) 健康維持に向けて、情報機器の活用や職務分担の工夫、長期休業中の活用等を工夫するなど、効率的・計画的に業務を遂行するために教職員の叡智を結集する。